

報道発表資料

2016年3月23日

テクトロニクス、USB ベースのリアルタイム・スペクトラム・アナライザの ラインアップを拡充

ベンチトップ並みの高性能リアルタイム・スペクトラム・アナライザを手頃な価格で実現

テクトロニクス(代表取締役 米山 不器)は本日、USB ベースのリアルタイム・スペクトラム・アナライザのラインアップを拡充し、設計、スペクトラム管理、無線送信機の設置／保守アプリケーションに対応した、4 機種の高性能モデルを発表します。新製品の RSA500 シリーズ、RSA600 シリーズは 9kHz から最高 7.5GHz の周波数範囲をカバーし、40MHz の取込帯域幅、+30dBm の最大入力と -161dBm/Hz の DANL (Displayed Average Noise Level、表示平均雑音レベル) による広い測定ダイナミック・レンジを実現しています。

新製品の USB ベース・スペクトラム・アナライザは、昨年発表し、多くのユーザーが使用している 6.2GHz 帯域の RSA306 型 USB スペクトラム・アナライザの設計コンセプトを受け継ぎ、高性能なハードウェアと豊富な解析機能を軽量・コンパクトなパッケージに実装しています。RSA500/600 シリーズは、RF の基本性能をさらに向上させた USB ベースのスペクトラム・アナライザであり、製造ラインや実験室での使用に向けたラボ・パッケージと、屋外などでの使用に便利な堅牢タイプのバッテリー動作パッケージを用意しました。RSA500/600 シリーズ共に、内蔵のトラッキング・ジェネレータがオプションで用意されており、デバイス、ケーブル、アンテナのテストが可能です。

テクトロニクスの USB スペクトラム・アナライザは、従来のスペクトラム・アナライザに比べコスト・パフォーマンスに優れ、同等の性能のスペクトラム・アナライザに比べて約 60% の低価格を実現しています。優れた機能を持った付属の最新版 SignalVu-PC ソフトウェアを使用し、デスクトップ PC、ノート PC、またはタブレットに標準の USB 3.0 インタフェースを通して接続することで、17 種類の測定、リアルタイム DPX による信号処理、数多くのアプリケーションに対応したアドオン・モジュールによる詳細な解析が可能になります。

テクトロニクス、RF/コンポーネント・ソリューションのジェネラル・マネージャ Jim McGillivary は、次のように述べています。「テクトロニクスの USB スペクトラム・アナライザは、従来のスペクトラム・アナライザよりも低価格で、

優れた機能、解析ソリューションを実現しています。ソフトウェアで操作ノブ、動作モード、ディスプレイを置き換え、革新的な技術によって数多くの機能を軽量・小型のパッケージに実装しました。RSA306 型で見るように、USB ベースの計測器はその軽量・小型の利点と期待以上の性能と操作性が、多くのスペクトラム・アナライザ・ユーザの間で、急速に認知されてきています。低価格であるため、より多くの設計／計測エンジニアが最新の計測器を手にすることが可能になります」

スペクトラム管理のための堅牢なツール

RSA500 シリーズは現場使用に適しており、研究室で使えるレベルの性能をもったスペクトラム・アナライザであり、迅速でコスト効果に優れたスペクトラム管理、不要電波検出、ネットワークのトラブルシュートが行えます。RSA500 シリーズには、3GHz 帯域の RSA503A 型と、7.5GHz 帯域の RSA507A 型があります。バッテリー駆動の計測器であり、MIL-STD 28800 Class 2 の衝撃／振動規格に適合し、IP52 の防塵・防水性があります。

GPS に周波数ロックすることで内部基準周波数確度を±0.025ppm まで向上できる機能や、リターン・ロスや不良点位置の特定などのケーブル／アンテナ測定に必要なトラックング・ジェネレータも内蔵しているなど、フィールド・アプリケーションに有効な性能、機能が数多く盛り込まれています。リアルタイム・スペクトラム・アナライザは、持続時間が非常に短い信号を観測できることから、不明な電波や不要な電波をすばやく観測できます。

ラボのためのコスト・パフォーマンスに優れた RF デバッグ

RSA600 シリーズには、3GHz 帯域の RSA603A 型と 7.5GHz 帯域の RSA607A 型があり、RSA500 シリーズと性能レベルは同じですが、商用電源に接続して使用するよう設計されており、大きなモニタを使用できます。RSA600 シリーズは、Bluetooth LE や Bluetooth EDR から、IEEE802.11ac などの無線 LAN 規格の解析や IoT (Internet of Things) のモジュールやコンポーネントのテストなど、SignalVu-PC 測定パッケージを使用して、さまざまなアプリケーションに対応します。アンテナ、ケーブル、部品のゲイン／損失テスト機能も持ち、設計のスピードアップに貢献します。

SignalVu-PC のアップデート

新製品のスペクトラム・アナライザ発表と同時に、SignalVu-PC ソフトウェアのユーザ・インタフェースも更新され、新しいオプション、機能も追加されました。SignalVu-PC に新たに追加されたオプションとしては、信号識別、チャンネル・ナビゲーション、マップ・サポートの拡張が含まれています。固定ライセンスの他にフローティング・ライセンスも利用できるため、ソフトウェアと USB スペクトラム・アナライザを柔軟に利用できます。また、長い時間の信号の記録、再生機能も備わっています。

制御用プログラムから計測器にアクセスする場合は、SignalVu-PC のプログラマティック・インタフェースを選択するか、または豊富なコマンドと測定が可能な API (Application Programming Interface) が使用できます。推奨の PC ハードウェアで SignalVu-PC を実行した場合のリアルタイム処理能力は、他メーカーのスペクトラム・アナライザに比べて約 1,000 倍以上、高速です。

製品価格

RSA503A型	USBリアルタイム・スペクトラム・アナライザ、バッテリー駆動、9 kHz-3.0 GHz	76万8千円(税抜)
RSA507A型	USBリアルタイム・スペクトラム・アナライザ、バッテリー駆動、9 kHz-7.5 GHz	128万円(税抜)
RSA603A型	USBリアルタイム・スペクトラム・アナライザ、9 kHz-3.0 GHz	89万8千円(税抜)
RSA607A型	USBリアルタイム・スペクトラム・アナライザ、9 kHz-7.5 GHz	128万円(税抜)

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の測定課題を解決し、直感的に問題点を把握したり新たな発見を促すような、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト、計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたりデジタルの時代の最前線に位置し続けています。ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

報道関係者からのお問い合わせ先
テクトロニクス 広報室 瀬戸
電話: 03(6714)3097 Fax: 03(6714)3667
Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc. の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。